

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	1 単位	学年	1 年	コース	全
使用教科書	農業と情報(実教出版)			使用副教材等	ビジネス文書実務検定模擬試験問題集(実教出版) 情報処理技能検定試験・表計算 模擬問題集(日本情報処理検定協会)				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業に関する情報の利用について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	・定期テスト ・演習課題の達成状況(アプリケーションソフトウェア操作方法の習熟)	・定期テスト ・演習課題の達成状況(アプリケーションソフトウェア利用の工夫)	・演習課題の達成状況 ・授業・演習での取り組みの様子 【主体性】積極的に取り組んでいるか 【協働性】協力して共に学び合う姿勢が見られるか

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して授業に取り組み、情報化社会で生きる社会人として必要な知識とモラルを身に付け、日常生活に活かしてください。 ・演習中心の授業になります。自ら学ぶ姿勢(自主性)、協力してお互い高め合う姿勢(協働性)を意識して取り組んでください。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
		○オリエンテーション ・PC教室のルールを理解する。	※(知)知識・技術、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度 ・PC室の利用ルール、個人のアカウントとパスワードの管理について理解している(知) ・パソコンの起動と終了方法を理解している(知)
	4	第1章 私たちの生活と農業の情報化 1 情報化社会における私たちの生活 2 情報とメディア 3 情報社会とモラル 4 農業を支える情報 ・私たちの生活のなかには、情報を活用したさまざまな技術が生かされている。それらの個々の技術に目を向けるとともに、農業にどのように活用されているか、情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術をどのように活用するか、などを理解する。	・データと情報、意思決定の過程と情報社会の発展について理解している(知) ・メディアリテラシーを身に付ける必要性を理解している(思) ・情報化社会の光と影について考えるとともに、SNSの使い方や、個人情報の取り扱い、知的財産権の保護、モラルについて考えることができる(思) ・農業の情報化の発展とデータ収集の大切さについて理解し、日々の生活に生かすことができる(態)
	5	第2章 社会を支えるコンピュータ 1 コンピュータのしくみ 2 データや情報の表現 3 情報通信ネットワーク 4 インターネットのしくみ 5 情報セキュリティ ・コンピュータのしくみ、コンピュータで取り扱う情報の種類と表現、情報通信ネットワークとインターネットのしくみ、情報のセキュリティ管理、などを理解する。	・ハードウェアとソフトウェアの概要について理解している(知) ・データや情報の種類とその表現方法について理解している(知) ・情報通信ネットワークのしくみと特徴について理解している(知) ・インターネットの概要と検索方法について理解できるとともに、電子メールを適切な利用法について理解している(思) ・情報社会の脅威と情報管理の重要性について理解している(態)

	<p>第3章 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>1 情報表現のためのソフトウェア</p> <p>2 文書の作成と表現</p> <p>・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。</p>	<p>・情報を活用するソフトウェアについて理解できた。(知)</p> <p>・文書作成ソフトウェアを利用して文書を作成できた。(知)</p>
9 1 0	<p>3 データの集計と視覚化</p> <p>4 データベースシステムとオープンデータ</p> <p>・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。</p>	<p>・表計算ソフトウェアを利用してデータの処理とグラフ作成等の視覚化ができる(知)</p> <p>・データベースソフトウェアの特徴と機能を理解し、データを活用することができる(知)</p>
2 1 1 1 2	<p>5 画像・図形処理ソフトウェアの利用</p> <p>6 プレゼンテーション</p> <p>・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。</p>	<p>・画像図形処理・動画編集等のソフトウェアを利用して、基本的な画像処理・動画編集を行うことができる(知)</p> <p>・プレゼンテーションソフトウェアを利用して、基本的なプレゼンテーションを行うことができる(知・思)</p>
3 1 2	<p>7 情報発信</p> <p>8 問題解決の方法</p> <p>・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。</p>	<p>・基本的なHTMLのタグを理解し、簡単なWebページの作成ができる(知・思)</p> <p>・問題解決と情報利用の方法、アイデアなどを引き出す思考技術について理解している(態)</p>